

# 蒲生地域におけるブロッコリーの 栽培面積拡大と収量向上

東近江農業普及指導センター

## 【普及活動のねらい・対象】

東近江市蒲生地域では、経営の複合化による農業者の所得向上等を目的に、平成 21 年度から加工用キャベツ栽培が導入され、令和元年度には 10ha を超える栽培面積となっています。また平成 29 年度からは、新たな品目として加工用を中心としたブロッコリーの栽培が 8 戸 80a で始まり、実需者からはさらなる増産を求められていました。

そこで、JA 滋賀蒲生町と当センターが連携し、蒲生地域のブロッコリー生産者を対象に、栽培面積の拡大と収量向上の取組を支援しました。

## 【普及活動の内容】

栽培面積の拡大に向けて、個別訪問やチラシ（作型や経営収支等記載）の配布を行い、新規栽培者の掘り起こしと既存栽培者の面積拡大を図りました。

収量向上については、平成 29 年度の平均収量が 214kg/10a と非常に低かったため、平成 30 年度は排水対策や病害虫対策などの基本技術の徹底と、加工用としての施肥と適期収穫を重点的に支援しました。令和元年度はそれらに加えて、特に適期定植と施肥改善について、栽培研修会や現地巡回、技術情報の配布により技術向上を図りました。

## 【普及活動の成果】

平成 30 年度の平均収量が 672kg/10a と収益性が向上したこと等から、令和元年度の栽培は 16 戸 3.5ha に拡大しました。令和元年度は、適期定植が確実に実施されたこと等により、約 900kg/10a の平均収量となる見込みです。今後もさらなる面積拡大と販売の安定化等を進め、農業者の所得向上を目指します。



写真 栽培ほ場と出荷の様子

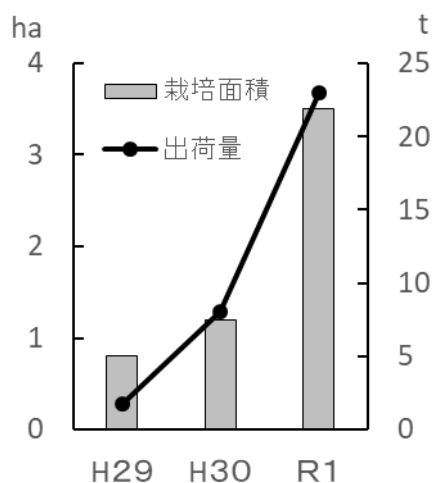


図 栽培面積と出荷量の推移  
(R1 出荷量は12月末まで)

### ◎対象者の意見

研修会や現地でポイントを指導してもらうことができ、収量向上につながってよかった（生産者）。